

学習成果の評価方法および進級・卒業認定基準

1 成績評価の基準・方法

成績評価は、各科目の授業計画※1に定めた評価方法、評価対象物※2、評価割合に基づき客観的に行う。以下の成績区分により、D以上の評価で単位を認定する。

尚、各科目とも出席授業数が総授業数の3分の2に満たない場合には定期試験の受験資格を与えず、単位は認定しないものとする。

成績評価	得点帯
A	100 — 90
B	89 — 80
C	79 — 70
D	69 — 60
F	59 以下

※1 授業計画は、年度開始前までに科目担当者と教務主任を中止とした専任教員との間で調整を行う。

※2 評価対象物は、①成果物、②発表・実技、③課題、④確認テスト、⑤定期試験とし、各対象物の評価は数値化され科目ごとに定められた評価割合に換算する。定期試験を除く各評価対象物については、学生が自身の取り組み状況、経過、結果等を授業内で把握できる形をとっている。

2 進級の認定基準

- ・ 1年次修了時点で単位が取得できなかった科目が3科目以下であること
 - ・ 原則として出席率が80%を下回っていないこと
- 進級判定会議は毎年2月に行う。

3 卒業の認定基準

- ・ 成績評価において「A(100～90)」「B(89～80)」「C(79～70)」「D(69～60)」を取得した科目の単位数が62単位以上あること
- 卒業判定会議は毎年2月に行う。

4 GPA (Grade Point Average) 制度の活用

それぞれの学生について、各科目の成績評価を以下の基準で Grade Point に換算し、その合計点数を科目の総数で割って平均値 (GPA : Grade Point Average) を算出する。

<成績評価の点数化>

Grade Point	成績評価	得点帯
4	A	100 - 90
3	B	89 - 80
2	C	79 - 70
1	D	69 - 60
0	F	59 以下

<通知・公表>

学生には自身の GPA を個別に通知するとともに、全体の分布結果は学内掲示および HP にて公表する。

<活用>

GPA は、学生自身の学習状況の把握、担任教員による学習指導、学校における奨学金受給者選考、各種推薦の可否決定、成績優秀者表彰の選考等において活用する。